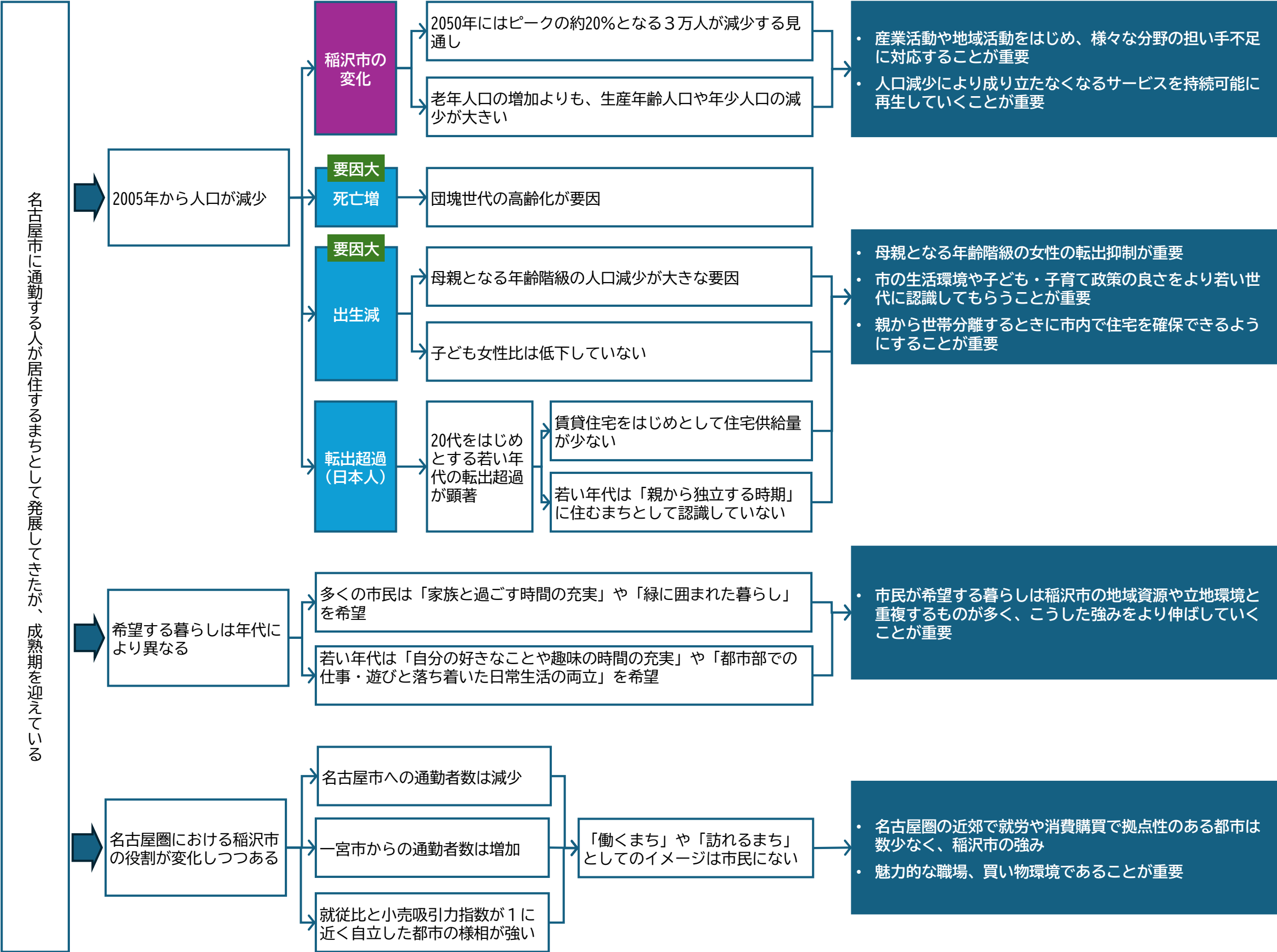


〈稲沢市の現状と将来見通し〉



稲沢市の地域資源

自然に育まれた豊かな暮らし

- ・ 木曽川に育まれた豊かな自然と産業の緑としての田園風景
- ・ のどかな暮らしと日常を彩る楽しみを両立できる
- ・ ゆとりある暮らし
- ・ 自然や季節を感じながら、子どもと一緒に遊べる

名古屋圏の利便性の高い暮らし

- ・ 大都市(名古屋)へのアクセスの良さ
- ・ 高速道路へのアクセスなど、利便性の高い生活環境
- ・ 生活に必要なものが揃う商業施設がある

地元愛を感じられるコンテンツ

- ・ 国府宮はだか祭などの歴史を感じられるイベント
- ・ バレーボールやハンドボールなどのトップアスリートとの距離の近さ
- ・ 荻須記念美術館などの文化、芸術

市民活力

- ・ 市内の高校や大学などと連携した特産品の開発や地域課題の解決
- ・ 「ウルフドッグス名古屋」などと連携した地域貢献活動

社会潮流の変化

国内人口減少と東京一極集中の再加速化

デジタル社会の加速化

ダイバーシティ（多様性）＆インクルージョン（包摂・受容）

協働・共創と地方創生

リニア開業と名駅地区の再開発促進

予測困難な時代（物価高騰等）

まちづくりの 基本理念

人口減少時代にあっても
一人ひとりの幸福度を高める

将来都市像の方向性

- これまでの延長ではなく、
新しい稲沢に変わっていく
- ・ 若い世代が住めるように変える
- ・ 目的地となるまちに変える
- ・ 行政サービスのあり方を見直す 等

- 稲沢市の良さを生かしていく
- ・ 名古屋駅からの近さ
- ・ 緑・田園に育まれた便利で穏やかな暮らし
- ・ 歴史・伝統と新しい魅力（プロスポーツ） 等

- 稲沢市で生活する価値を
市民が実感できるようにする
- ・ 市民の希望する暮らしが実現する
- ・ 高齢者が安心して暮らせる
- ・ 市民が誇りに思えるまちになる 等

- 若い世代に目線向ける
- ・ 若い人を惹きつける
- ・ 充実した子育て環境を提供する 等

- 市民活力を最大限活用する
- ・ 学校や企業等との共創を進める
- ・ 市民主体の活動を活性化する 等

未来の稲沢

未来の稲沢①

人口減少が続いても産業活動や地域活動など様々な活動が活発に展開されるまち

- ・ 新たな担い手を創出・確保する
- ・ デジタルをはじめとする様々な技術を活用する

未来の稲沢②

若い世代から住む場所として選ばれるまち

- ・ 住みたい、住み続けたいと思う人が、居住地として選択できる環境を整備する
- ・ 子育てしやすいまち、安心して子育てができるまちであることが実感できる

未来の稲沢③

多様な暮らしの希望が実現し、地域に対する誇りが育つまち

- ・ 地域資源と民間活力を活用し、本市ならではの魅力あふれる暮らしの選択肢を増やしていく

未来の稲沢④

働きたい・訪れたいと思えるまち

- ・ 働いてみたい魅力的な職場、買い物したい魅力的なお店等を創出
- ・ 「住むまち」だけでなく「働くまち」、「訪れるまち」としてのイメージを確立